



さわぎきょう

会報第 4 号

(舟石川・船場地区社協だより)

舟石川・船場地区社会福祉協議会
発行責任者 照沼貢一郎

平成 21 年度第 1 回総会を開催



挨拶する照沼会長

平成 21 年度の定期総会が 4 月 26 日、村上東海村長はじめ来賓の方々をお迎えして、多くの会員出席のもと開催され、平成 20 年度活動報告、平成 21 年度活動方針などの重要議題が審議され原案どおり承認されました。村上村長はあいさつの中で、人間が尊厳を持って生きていける社会、県下一の福祉の村を目指して村政を進めています。舟石川・船場地区社協の総会に大勢の参加があり、感激しておりますと述べられました。なお、当日は 131 名の出席と 112 名の委任状の提出がありました。

総会で決まりました役員は表（2 ページ下）の通りです。

視察研修

素晴らしい環境のすみれ園



特別養護老人ホーム「すみれ」

村内視察で6月16日、船場のすみれ園を見学できる機会をいただき、40名ほどの参加者で見学してまいりました。舟石川二区住民として、近くの施設なのでとても感心を持って施設案内をしていただきました。

全室個室とのこと、プライバシーは

守られ、コミュニティの場も整っていたように思われました。自分も不自由な体になった時、どうかなと考える自分に困惑しています。

東海村でも近年、65歳以上は1万人を超えるとのこと、若い世代の困難な現状を考えると子世代に負担はかけられないかな等と考えています。

そこで地域社会の中で、生き生きと元気に暮らしていける環境整備が望まれます。それは一人ひとりが自立し、地域に参加しながら、老後を明るく元気に過ごしていけるよう、協力し合っていくことだと感じました。

舟石川二区 藤井久美子



総会で決まった舟石川・船場地区社会福祉協議会役員

No	職名	氏名	No	職名	氏名
1	会長	照沼 貢一郎	15	舟1ふれあい協力員リーダー	助川 不二
2	副会長	上家 和子	16	舟1ふれあい協力員リーダー	星野 好久
3	〃	田村 操	17	舟1ふれあい協力員リーダー	金子 一男
4	舟1部会長	寺門 喜八郎	18	舟1ふれあい協力員リーダー	鈴木 茂正
5	舟1副部会長	鈴木 綾子	19	舟1ふれあい協力員リーダー	川野 次男
6	舟1副部会長	井坂 愛子	20	舟2ふれあい協力員リーダー	藤井 久美子
7	舟2部会長	大城 とみ	21	舟2ふれあい協力員リーダー	柴田 節子
8	舟2副部会長	園部 芳彦	22	舟2ふれあい協力員リーダー	佐藤 隆之
9	舟2副部会長	高杉 正子	23	舟2ふれあい協力員リーダー	村上 広美
10	船場部会長	庭田 紀久子	24	船場ふれあい協力員リーダー	坏 務
11	船場副部会長	佐藤 光代	25	船場ふれあい協力員リーダー	新田 一雄
12	船場副部会長	後藤 のりこ	26	監事	川戸 克
13	総務部会長	近藤 忠美	27	〃	尾崎 宗三郎
14	総務副部会長	宮本 京子			

静かな雰囲気「東海園」



自立を尊重し、きめ細かいサービスを目指している事を東海園だけでなく関連施設全体についても話しをされた。

入園費用は当人の収入に応じた費用とのおよび、入園希望待機者はかなりの人のようです。

見学時、食堂に手押し車に乗った入園者が集まっておりましたが、病院とは違っているが静かな雰囲気でした。

園長さんの施設の生い立ちの説明に前向きな情熱を実感しました。

協力員リーダー 新田一雄



6月12日(金)船場部会の研修会が23名の参加で介護老人福祉施設常陸東海園を見学しました。

東海園の理事長兼園長さんから直々に説明をしていただきましたが、年齢を感じさせない若さに感心しました。

介護と医療の連帯と、老人の

楽しかった舟二敬老会

5月28日(木)に舟二部会では、自治会と共催で、お楽しみ会(敬老会)を行いました。会場に花を飾り、土産の花束を全員に用意しました。これはふれあい協力員の庭先で咲いたものを持ち寄り作りました。昼食は、ふれあい協力員の手作りで、お祝いの赤飯とおもてなしでおいしく頂きました。

余興として、尺八と琴、民舞、ハーモニカ、全員でのナツメロ大合唱、最後に中井やゑさんによる“岩壁の母”の踊りには、思わずポロリ・・・でした。

楽しいひと時を過ごすことができ、とてもよい笑顔で会を終わることができました。

舟石川二区 上家 和子





思いのままに!!



事務局長 遠藤 弘

今年は春から新型インフルエンザの流行があり、村内でも数人の感染者がありました。梅雨時は雨量も少なく寒暖の差が厳しく、体調管理には可成り気を遣われたことではないでしょうか。

さて、いかにして地域福祉の向上に役立つ活動をしていくかとなると、非常に難しい課題が多くあることも分かりました。運営スタッフの高齢化、行事への参加意識の底上げ、個人情報取り扱いに関することなどがあります。例えば、運営スタッフの高齢化問題では、流行語の

「老老介護」ならぬ「老老運営」と云わざるを得ない状況になりつつあります。若年層運営スタッフを増やせば良い



と分かってはいるが、「生活のための仕事を持っており、子育て中です。」などの理由により参加することが難しいのです。どうしたらお互いの福祉の充実を図りながら、活動に参加していただけるかを模索しているところです。若い頭脳から生まれるアイデアを期待しているのですが。

他方、昨今の生活環境を見ても、個々人の格差の大きさが目に止まります。高級料理を食べながら贅沢三昧に暮らしている人、高額を払いホテル並の老人ホームに入居出来る人がいる。一方では、食する物もなく明日の我が身はどうなるのかも分からない人、十分な介護を受けられずに介護疲れから命を奪い、自らも命を絶つと云った痛ましい事件も起こっています。この様なことが起こる前に、救いの手をさしのべてやる。そのための行政へのパイプ役として、



地域ぐるみの連携のもと、見守り活動を行うことが重要だと思います。

地域福祉の向上は一個人で出来るものではありません。地域での多くの方々の一致協力があることで出来ることだと思います。安心して明るく楽しく暮らせる社会をつくるため、皆様方のご支援ご協力をお願い致します。



今後のふれあい食事会の予定

舟石川1区：10月28日、11月25日、12月16日、平成22年2月24日、3月24日

舟石川2区：10月9日、11月13日、12月11日、平成22年2月12日、3月12日

船場区：10月28日、11月25日、12月23日、平成22年2月24日、3月24日

編集後記

写真を多用して、地区社協活動の報告をわかりやすくまとめ、より心に残る紙面を目差しました。今後も皆様のご協力のもと、地区社協の更なる発展を願いつつ筆をおきます。皆様からの声をいただけると幸いです。

総務部会 石川